

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域内外の防災力を高めるための防災教育コンテンツ開発事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人ねばのもり
事業区分	教育、文化振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,008,646 円 (うち支援金 : 3,033,000 円)

事業内容

1 防災体験拠点の設置

防災拠点について、常設ではなく仮設で設置できるものにし、実際に災害があったときに簡易に設置できる設計とした。設置に際しては、地元の大工にワークショップ型 DIY にて地域の人々を巻き込みながら実施を行った。

2 防災キャンプの実施 (3回)

コンテンツの開発も兼ねて、外部の経験者にアドバイザーとして入っていただき、子供たちの防災意識を高めるための防災キャンプを行った。

コンテンツ内容としては、ロープワーク・テントを活用した拠点テント設置、自炊を行うための火起こし〜料理までを自己完結できるようになるためのレクチャーを防災のプロからのレクチャーをうけた。1回は村内の小学生の子どもがいる親子を対象で行い、1回は飯田市から小学生に来てもらい体験、加えて根羽村の学童事業でも行った。

また、今後継続的に事業として活動できるように、必要な備品をプロにコーディネートしていただいた。(4グループ、最大16名まで宿泊型防災キャンプが実施できる備品)



【村内向け防災キャンプの様子】



【村外と連携して実施した
防災キャンプの様子】

【目標・ねらい】

- ①山のフィールドを活かした継続性のあるコンテンツ開発
- ②満足度を高める拠点の整備
- ③必要な備品の整備
- ④トライアルを通じて根羽村側の受け入れ体制の強化

※自己評価【 B 】

【理由】

当初の目的・狙いについて、おおよそ達成することができた。コロナ感染症の影響により、宿泊型の実施ができなかったことが心残り。

事業効果

- ①支援金を活用して防災教育拠点となる場所が設置することができ、ワークショップの誘致・実施がしやすい環境が整備された。
- ②支援金を通じてワークショップのコンテンツ開発を行うことができ、かつ複数回の実施を行うことができたので、今後定期的に開催できるコンテンツをもつことができた。
- ③参加した子どもが、防災キャンプを通じて自然への興味関心度が高まり、ワークショップ以降も普段の暮らしの中で自然に関する興味関心を持っているとの報告をもらっている。

今後の取り組み

- ・根羽村では今後月に1回、村内の子供向けの防災キャンプの実施を行っていく予定。
- ・村外との連携は引き続き行っていく予定。
- ・村外からの受け入れについて参加費をとり、いただいた収益は拠点の整備費用に当てていく

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある